

羽田空港の国際ハブ空港化発言に関する要望書

平成21年10月16日

千葉県市長会

千葉県町村会

羽田空港の国際ハブ空港化発言に関する要望書

成田国際空港は国際線の基幹空港、羽田空港は国内線の基幹空港とする従来からの「内際分離政策」は、羽田空港の容量不足から新たな国際空港として成田国際空港の建設が必要となった当初からの国の方針であります。

加えて、成田国際空港の歴史的経過から、また、羽田空港の国内線需要への対応の見地からも、国は、この方針について羽田再拡張後も不変であるとして、千葉県及び地元自治体にも明言していたところであります。

然るに、10月12日の前原国土交通大臣の「羽田空港の24時間国際ハブ空港化、成田国際空港の建設当初からの国の基本方針である内際分離政策を基本的に撤廃する」という突然の発言は、これまで積み上げられてきた相互の信頼を突き崩すものであり、地域主権を政権公約の大原則に掲げる政府の主要閣僚のものは到底信じられません。

また、地元自治体に一切の説明もなく重要な政策転換を図ろうとすることは、成田国際空港建設当時の地域の混乱を思い起こさせるとともに、空港整備に携わってきた多くの関係者に大きな不信感を抱かせるものであります。

今後、地域に十分な説明のない政策変更は厳に慎むべきであり、

唐突とも思える発言により、地域の混乱や住民の困惑を引き起こさぬよう、地域の意見を十分尊重し、慎重に対応されることを切望するものであります。

つきましては、成田国際空港の整備にあたっては、その歴史的な経緯に鑑み、「成田国際空港は国際線の基幹空港、羽田空港は国内線の基幹空港」とするこれまでの方針を今後とも堅持され、首都圏空港の機能の拡充と利便性の向上が図られるよう強く要望いたします。

平成21年10月16日

国土交通大臣 前原 誠 司 様

千葉県市長会長 藤 代 孝 七

千葉県町村会長 田 嶋 隆 威